

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	2024 年 月 日
事業所名:	夢門塾笠岡2組

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	3	2	0	机などで場所を決めて遊べている。また、自由時には自由ルーム・運動ルームに活動場所を分け分散させている。
	②	職員の配置は適切である	5	0	0	法的な人員配置基準を守っている。
	③	衛生面の管理が行き届いている	5	0	0	朝夕の決まった時間に清掃を行っている。消毒も冬場はドアノブ等よく人が触る箇所も意識的に行っている。利用者の使うコップ、お皿をキレイに洗い、流しや洗い物かごも清潔に保っている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返りに)、広く職員が参画している	5	0	0	日々の支援後や朝のミーティングで振り返りをし、目標の共有や改善点の話し合いを職員全体で取り組んでいる。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	5	0	0	毎年アンケート結果をまとめ職員間で共有し、業務や支援の改善に努めている。
	⑥	自己評価の結果を公開している	5	0	0	書面とホームページにて公開している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	5	0	0	毎月開かれてる研修に参加し資質向上に努めている。児童発達管理責任者や理学療法士といった専門職でも会議が定期的に行われサービス向上の話合いが行われている。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	5	0	0	毎年保護者様にアセスメントシートを提出していただいている。半年毎にモニタリングにて家庭・学校の様子を聞き、事業所での様子と照らし合わせて一人一人にあった目標を設定している。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	5	0	0	楽しい活動・経験ができるよう職員全員で企画を出し合いイベントを計画している。相談しやすい環境・関係性ができているため、計画・準備・運営もサポートしあうことができている。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	5	0	0	過去の活動計画を参考にして新しい企画を入れてたり、季節にあった活動を行ったりしている。行った活動は反省を繰り返し、より良いものになるよう改善に努めている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	5	0	0	休日・長期休暇では活動時間の長さを活かして外出する活動を積極的に入れている。調理実習や美術館・博物館、観光地への訪問等、体験・経験を重視した活動も企画している。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	5	0	0	職員と一緒に参加する、静かな場所へ移動し活動する等、個にあった参加の仕方を考え実践している。PTやOTと協力し、個別活動も状況に応じて組み合わせで行っている。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0	毎朝のミーティングで確認を取っている。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	0	個別に特記事項に日々の記録を残している。また、翌朝のミーティングで情報を共有し偏りをなくし、職員の支援の検証、反省を行っている。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0	半年ごとにモニタリングを行っている。計画案作成を児発管を中心に職員の意見も聞きながら行い、保護者様とのモニタリング内容と照らし合わせて必要に応じて見直しを行っている。
⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	5	0	0	ガイドラインに目を通し、組み合わせ支援に活かしている。	

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行えている	5	0	0	送迎時に学校での子どもの様子を教えていただいたり、支援の共有を行ったりしている。下校時刻が通常の予定と異なっている場合には管理者を中心に連絡を取り確認を行っている。また、学校からも連絡をいただく体制が整っている。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	4	1	0	学校等と情報共有できている。必要な場合にはケース会議で密な情報交換をしている。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	0	5	0	移行対象となる利用者が今現在おられない。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	0	自立支援協議会や相談支援事業所、子育て支援課、教育委員会と必要に応じて連携している。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	5	0	0	連絡アプリの共通、連絡帳を用いて日々の活動の様子をお伝えしている。送迎時に必要に応じて家庭の様子や保護者の困り感等をお聞きしている。また、専門機関を受診時、子どもの利用の様子を文書にてお伝えし、検査結果報告書を確認させていただいている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	5	0	0	契約時に丁寧に説明を行っている。質問も適宜受け付けており、適切に対応を行っている。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	5	0	0	相談を受けたら詳しくお話を聞き、家庭でできる事、事業所でできる事を提案し実行している。送迎時等でその場での回答が難しい場合は持ち帰り、職員全体で共有した上で返答をしている。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	5	0	0	参観日を実地し、その中で座談会の時間も設け、保護者同士の意見交換がなされていた。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	0	子どもや保護者からの苦情があれば、管理者を中心に上司へ即座に連絡をし、迅速に対応できるようにしている。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	5	0	0	毎月、お便り・月間行事予定表の発行、またブログにて情報発信している。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	5	0	0	個人情報の載った資料は保管を徹底し、知りえた情報を職員間で共有するときにも漏れることのないよう注意を促している。写真の顔出しに許可が出ていない子を名簿で管理し、会報等を作成時には2人以上の職員で確認を行っている。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0	視覚情報が優位な子どもの為に、室内の構造化、視覚支援をしている。また、保護者へ口頭でお伝えするだけでなく、管理のためメモも合わせてお渡ししたり、お知らせを書面にする等の配慮をしている。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	1	3	1	事業所周辺のゴミ拾いを計画し行った。地域行事への参加を今年度は行えなかったため、地域の情報を収集し参加をできるようにしたい。
	非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	5	0	0
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	5	0	0	年に2回、地震と火災の訓練を行っている。全児童生徒が参加できるように1週間内で実地日を振り分けて行っている。
㉒		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0	会社での虐待防止の研修に毎年参加している。
㉓		いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	5	0	0	契約時に保護者へ身体を拘束する行為は基本的には行わず、安全の為に必要があれば行う旨を説明しており、一時的にでも身体を拘束したときがあれば、その状況を詳しく様子をお伝えしている。
㉔		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	5	0	0	与薬表の配布や連絡を保護者へしている。授与時にも記録を取り、保護者へお伝えしている。
㉕		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	5	0	0	毎月ヒヤリハットの事例を職員各自で提出をし、ミーティング時に職員間で共有している。

保護者様評価、自己評価についてまとめ

今年度も支援に満足いただけている評価を多くいただきありがとうございます。イベントの内容につきまして特に高評価と感謝の言葉をいただき、頑張った企画してきた職員も誇らしく感じております。これからも職員間でしっかり話しあい、楽しいイベントの企画、成長を促す支援を続けていきたいと思っております。

保護者会につきまして、子どもたちと楽しく運動のイベントに参加していただき、座談会で情報共有もしていただきました。ご参加いただけた方は良かったのですが、時間が限られ参加ができなかったお声もいただいたので、来年度もより開催の幅を広げて行うことができると思っています。

利用表とスポット希望の取り決めにつきましてご指摘を承りました。こちらの即座の対応が不十分で不快な思いをさせてしまったことを深く反省しております。この度の件では同じ事が起きないように職員間でしっかり共有をしました。また別のことでご指摘を受けた時にも深く受け止めて迅速に話し合いを行い、ご利用者様・保護者様と気持ちの良い関係でいられるよう、適切な対応・解決策の提案ができるよう努めてまいります。

自事業所の振り返りで、昨年度に続き地域に根差した事業所となるのが課題であると感じました。今年度はまず一歩として地域の清掃活動を行事に取り入れ行いました。来年度からは笠岡や近隣の地域の行事を調べ参加を企画し、地域との関わりを大切に事業所を目指したいと思っております。